

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		青少年教育関連事業(成人式)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	高木敏明
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	生涯学習課	担当者名	甲斐朝子
	基本事業	41	自主的地域づくり(まちづくり)への意識の高揚			所属班	生涯学習班	(内線)	1502
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	8
		1	10	5	1	10333		コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	成人式典の開催。 成人式典が行われるようになった経緯は明らかでなく、始まった年代も特定できない。 合併前よりそれぞれで古くから行われていた事業で、少子化の影響で対象者は減少傾向にあるものの、合併後は対象者数が倍増し、毎年出席者は約500人となっている。式典の進行等は実行委員によって行われ、式典では市長挨拶、来賓者挨拶の他にアトラクションが行われる。式典終了後には全体記念撮影を行い、また、記念品を配布している。
【業務の流れ】	未来ある若者たちが、大人の仲間入りとなる機会に一同に集う場を設け、自ら生き抜こうとする意思を持ってもらうとともに、先輩らによって青年たちを祝い励ます式典を開催する。実施内容は新成人の中から実行委員を募集し、式典当日の進行、記念品の選定等を決定している。
【主な予算費目】	報償費(出演者謝礼、成人者記念品、記念樹)、消耗品費(装花代、プログラム用紙代)、印刷製本費(成人者集合写真代)、役員費(写真送付用切手代)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	大人としての自覚を持ってもらい、地域の人材として育ててもらうことが目的であるが、若者の意識の変化で、対象者にその意識が芽生えるか心配だとの声がある。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
平成22年1月10日にヴィーブル文化会館にて成人式典開催。新成人 474 人出席(出席率85%)。式典内容はZINDAIKOによるダンス、その後市長挨拶、来賓挨拶、交通安全宣言、記念品(タオル)授与、恩師のこぼ、合志吹奏楽団による演奏、誓いのこぼ、成人者謝辞を行った。終了後には会場全体記念写真撮影を行い、後日出席者に送付した。	平成23年1月某日にヴィーブル文化会館にて成人式典開催。内容についてはほぼ例年通りの予定。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 成人式典出席人数	人 イ 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
新成人(平成元年4月2日~平成2年4月1日生まれ)となる市民	⇒ ア 新成人(平成元年4月2日~平成2年4月1日生まれ)となる市民の人口 人
⇒ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
成人になった自覚を持ち、一市民としてまちづくりへの理解が深まる	⇒ ア 成人式典出席者の割合 %
⇒ イ	
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	人	484	503	550	474	470	470	
	イ	人							
⑤ 対象指標	ア	人	648	636	640	556	550	550	
	イ	人							
⑥ 成果指標	ア	%	74	79	85	85	85	85	
	イ	%							
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	704	664	961	648	961	961
	(A) 事業費計	千円	704	664	961	648	961	961	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件費	正規職員従事人数	人	10	9	10	10	10	10	
	延べ業務時間	時間	590	590	590	613	590	590	
	(B)人件費計	千円	2,342	2,360	2,348	2,440	2,348	2,348	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,046	3,024	3,309	3,088	3,309	3,309	0

総トータルコスト	全体計画	年度
~		
(期間限定複数年度のみ記載)		
		0
		0
		0
		0

事務事業名	青少年教育関連事業(成人式)	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部(SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷	成果指標(出席者割合)は前年度を上回り、達成した。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷	出席者数の割合は年々上がっているから。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷	式典内容を、来賓からの挨拶に終始することなく、新成人が「自分たちの市のために何かをしたい」と思わせる内容にし、若者の琴線に触れる催しを検討していけば、もっと成果を向上させることができるから。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷	古い歴史を持つわが国独特の事業であり、連携や統合になじまないと思われるから。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	対象である若者に贈呈する記念品、式典会場の装飾等は高価である必要はなく、経費節減は可能であるから。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	多数の若者に式典出席を求める以上、必要な職員配置は必須であり、現状でも式典当日はボランティアの方にもお手伝いいただいているので、これ以上の人件費の削減は困難であるから。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷	対象者である新成人者の、大人としての新しい門出を祝福する事業であり、受益者負担の考え方はなじまないと思われるから。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷	毎年、成人式実行委員の応募がなく、式典の段取りや進行を職員が主体となっており、募集方法の改善など見直しの余地がある。

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

・例年、祝日となる成人の日に開催していたが、今年は翌日が休日となる日曜日に開催した。午後からの開催だったため、比較的早く入場があり、終了後も同窓会等があるためか1時間弱でほとんどいなくなった。また、女性の着付け等の準備が楽だったとの声があった。記念演奏開始時や演奏時に何人か席を立った者がいたので、内容の検討(興味を引く内容を考える、時間の短縮をするなど)が必要である。記念撮影について、今年度から出席者を一括して会場内で撮影したため、整列方法を検討する必要がある。その他、成人者謝辞が少し長く感じたので1分半程度に短縮するよう検討する。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○				低下		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					

### (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

上記のような意識を、どのくらいの若者が理解し、将来実践するまでに至るかの事業の効果を判定することが困難である。